

えにし 縁

— 出会いの散歩道 —

3F:ギター心地よい音色が聞こえてくる

2F:もしかして今日は演奏会?!

1F:買い物帰りにちょっと寄り道

00.計画敷地

東京都世田谷区北沢1-46
敷地面積 約1,400㎡



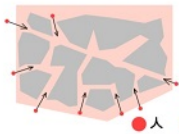
近年、下北沢は再開発が進んでいる。駅前には新しく商業施設ができたり、駅が地下化されたりしており、新たなまちへと生まれ変わり始めている。一方、サブカルチャーのまちとしても知られていて昔から音楽や演劇が盛んだ。よって、新旧の結節点となるような集合住宅を計画し、多世代の交流を図ってきたい。

01.コンセプト

「何かに出会える散歩道」

下北沢ならではの入り組んだ路地や昔の雰囲気が残る商店街を意識しつつも、新たなシモキタに合う集合住宅になるよう考えた。1階には住人だけでなく、外部の人も立ち寄れるようなパブリックフロアで、商店街に続く散歩道を敷地内に計画した。北から南へ通り抜けられるようになっている。一方、2、3階は住民同士の交流フロアとなっている。このように用途を分けることで、住民のプライバシーを守りつつも、人との出会いを促す。

03.散歩道に繋がる縁側



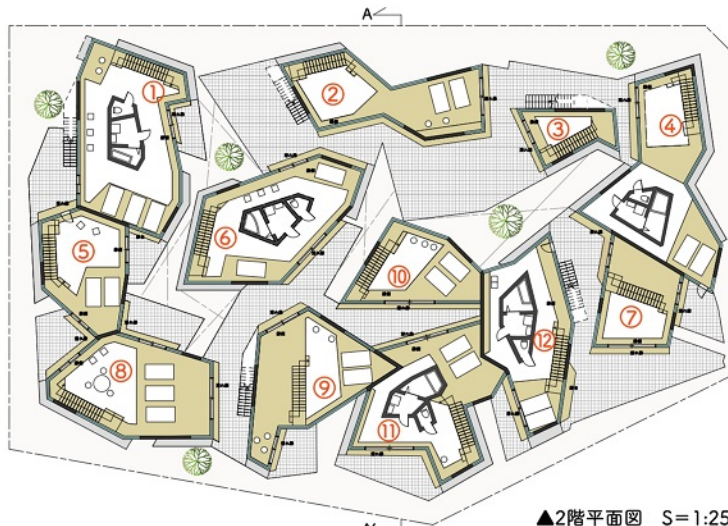
①1階のパブリックフロア内の散歩道に住人や外部の人たちが入る



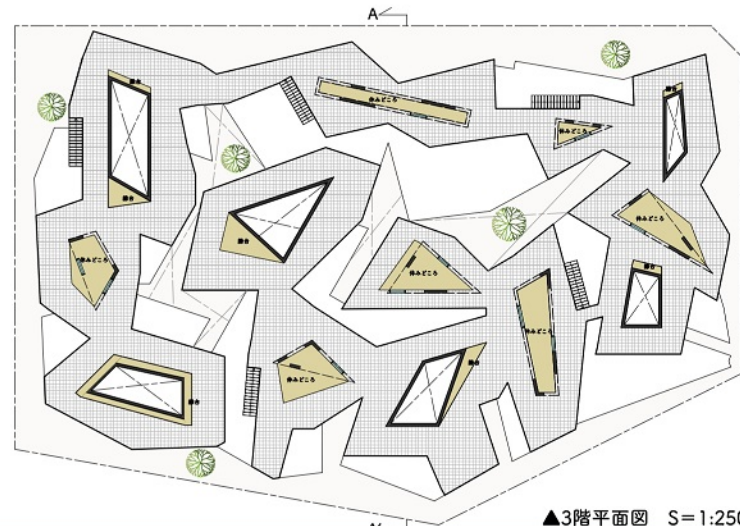
②外壁が一部ガラスのため、住人の趣味が垣間見える



③住人の趣味や生活をきっかけに、縁側で交流が生まれる



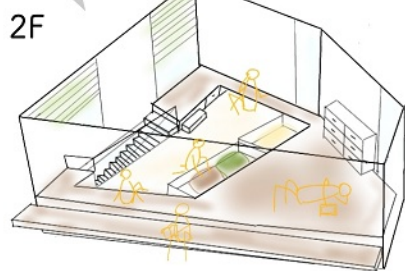
▲2階平面図 S=1:250



▲3階平面図 S=1:250

02.住戸のプラン

⑩の住戸

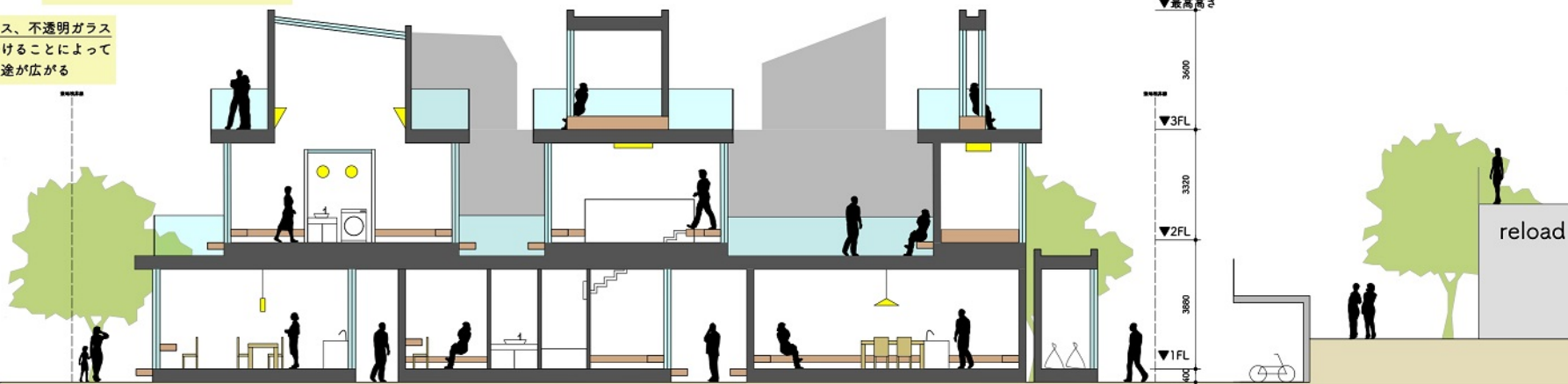


縁側の高さが400mmと700mmの2種類ある。

400mmの高さの縁側
腰掛けができたり、床、机として利用することができたりする。階段に繋がっている。
700mmの高さの縁側
机や物置きとして利用できる。
縁側の下部
引き出しや空滑になっているところがありものを収納できるスペースになっている。

1F

壁、ガラス、不透明ガラスを使い分けることによって空間の用途が広がる



▲A-A'断面図 S=1:100

reload

下部は軽輪場

▲配置図兼1階平面図 S=1:200

+400の縁側
+700の縁側
2,3階の散歩道



reload